

新たな体験型観光の実現・推進に 役

6月 8日、

町の「地域おこし協力隊」の活動報告会



活動報告会の様子

内に生活の拠点を移し、任期終了後も定住意欲のある 任した隊員の活動内容や成果などの発表に耳を傾けま が役場庁舎内で開かれ、町の職員ら21人が同月末で退 無人島キャンプ」で です。ここでは、報告会の模様などをお伝えします。 づくりを推進するため、個人の持つ技術や経験を生か した。「地域おこし協力隊」は、地域資源を生かしたまち 人材を隊員として任命し一定期間活動してもらう制度 してもらおうと設置しているもので、都市地域から町

ら運営スタッフに必要なキャ	「無人島キャンプ」では、自	などに取り組んできました。	元を中心に体験型観光の推進	このキャンププログラムの開	白用した「無人島キャンプ」な	向に、これまでオランダ島を	の交流人口を増やすことを目	八目の隊員として着任後、町	?)。令和元年7月に本町1	崇隊員(滋賀県彦根市出	活動報告を行ったのは、中		オランタ島の魅力発信	
して組	風トレ	陸ジオ	この		1		家		ない蘇	にも及	らの参	入れの	々と淮	えれ

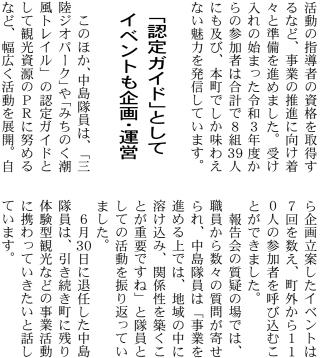
ビ浜的の

¥.

白白

求約

引き続き町に残り



中島隊員は「事業を



テストキャンプをする中島さん

退任する中島崇さんからひとこと



心しました。仕事面で、町 がら尽力し、町民の皆さん らも町の魅力発信に微力な での経験を生かし、これか 町民として生活していくこ ています。 らずオランダ島キャンプの の交流人口を増やすという れて、移住当時、本当に安 身になって相談に乗ってく う点でした。正直なところ に恩返ししていきたいです とを決めています。これま 型観光業や漁業に携わり、 ンダ島キャンプなどの体験 に呼ぶことができたと感じ 実現や町外県外の人を町内 どうか不安ですが、少なか ミッションを達成できたか る人も近所の人もいつも親 ですが、仕事でお世話にな 不安な気持ちも多かったの 退任後は、 引き続きオラ